

事業方針	事業の推進	本年度も、従来通りの事業計画を進め、保護者・園教員の意思疎通を深めていけるよう連携を強化していく。	
	予算編成の基軸	本年度は、保育料基本、県経常費補助金と合わせて、予算組みをする。事業内容により、借入金を組入れる必要が生じるものと思われる。	
	具体項目		
1	教育計画	異年齢の取組	異年齢交流の場を普段の保育生活に多く取り入れる行事計画とする。
		行事の見直し	基本行事の再確認をしていく。
2	研究計画	研究会への参加	各種研修会に参加を検討していく。
		自園の研究	教員の技術向上のための研究を進める。
3	地域連携計画	園施設開放	コロナの状況によるが、開放は難しいと思われる。
		地域との連携	小学校・地元自治会等連絡を密にして、行事及び交流を進めていく。
4	施設設備計画	地震対策	施設内の地震対策の対応を見直す。
		設備整備	補修等が必要な箇所については、緊急性に鑑み順次補修を実施する。
5	管理運営計画	園管理	保護者に対し、開かれた園であるべきであるが、情報等管理体制を見直し、効率よいものにする必要がある。
		教員管理	個々に教員としての意識をもち、現場・保護者への対応を相互に点検する必要がある。
6	財務計画	納入金	保育料は無償化により確保できるが、その他納付金は保護者の負担を軽減するようにしていく。
		設備投資金	資金確保に努めなければならない。

事業方針	教育事業の推進	本年度も、従来通りの事業計画を進め、保護者・園教員の意思疎通を深めていけるよう連携を強化していくことができた。	
	予算編成の基軸	本年度は、保育料基本、県経常費補助金と合わせて、予算組みをする。借入金をしなくて済むことができた。	
	具体項目	内 容	
1	教育計画	異年齢の取組	異年齢交流の場を普段の保育生活に多く取り入れる行事計画とした。
		行事の見直し	運動会等見直しをして、実情に合ったものに変更していき、無理のないものにすることができた。
2	研究計画	研究会への参加	各種研究会に参加できず、検討を要する。
		自園の研究	教員の技術向上のための研究を進める。
3	地域連携計画	園施設開放	コロナの影響もあり、施設開放はできなかった。
		地域との連携	小学校・地元自治会等連絡を密にして、行事及び交流を進めていく。十分に活用はできなかった。
4	施設設備計画	地震対策	施設内の地震対策の対応を見直す。防災機器の確保をすることができた。
		設備整備	補修等が必要な箇所については、緊急性に鑑み順次補修を実施する。
5	管理運営計画	園管理	保護者に対し、開かれた園であるべきであるが、情報等管理体制を見直し、効率よいものにする必要がある。
		教員管理	個々に教員としての意識をもち、現場・保護者への対応を相互に点検、資質の向上が必要である。
6	財務計画	納入金	保育料は無償化により出来る限り据え置きの方で進める。
		設備投資金	資金確保に努めなければならない。